

Title	人見康子教授略歴；人見康子教授主要業績
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学法学会
Publication year	1991
Jtitle	法學研究：法律・政治・社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.64, No.12 (1991. 12) ,p.423- 427
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	人見康子教授退職記念号
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19911228-0423

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

人見康子 教授 略歴

昭和二年三月九日生

昭和二年三月

東京女子大学数学科卒業

昭和二年三月

慶應義塾大学法学部法律学科卒業

昭和二年四月

慶應義塾大学法学部助手

昭和三年四月

慶應義塾大学法学部専任講師

昭和三年九月

慶應義塾大学法学部助教授

昭和四年三月

法学博士（慶應義塾大学）学位取得

昭和四年四月

慶應義塾大学法学部教授

昭和四年四月

慶應義塾大学大学院法学研究科委員

昭和五年三月

イギリス ロンドン大学高等法学研究所留学（昭和五二年三月まで）

昭和六年三月

イギリス ロンドン大学高等法学研究所留学（昭和六三年八月まで）

平成四年三月

定年により慶應義塾を退職予定

その間、比較法学会監事（至現在）、日本家族（社会と法）学会理事（至現在）、東京家庭裁判所家事調停委員兼参与員（至現在）、法務省法制審議会国籍法部会委員を経て法務省法制審議会民法部会委員（至現在）、厚生省人口問題審議会委員（至現在）、労働省障害者雇用審議会委員（至現在）、大蔵省国有財産関東地方審議会委員（至現在）、総理府婦人問題企画推進有識者会議委員（至現在）等を兼務

人見康子 教授 主要業績

著 書

- 『人工授精の諸問題―その実態と法的側面』（共著）
慶應義塾大学法学研究会 昭和三五年
世界書院 昭和三九年
- 『親族法相統法講義案』
鳳舎 昭和四五年
- 『現代夫婦財産法の展開』（学位論文）
昭和四五年
- 『判例にみる婦人の能力評価と労働権』（共著）
労働法令協会 昭和四五年
- 『相続と遺言の法律常識』（共著）
日本評論社 昭和五六年

論 文

- 『現行法より見た人工授精―親子関係を中心として』
私法一六号 昭和三一年
- 『父子関係の認定について―血液型検査の証拠的意義を中心として―』
昭和三三年
- 『慶應義塾創立百年記念論文集・法学部（法律）』
昭和三四年
- 『比較法と私法の諸問題（小池博士還暦記念論文集）』
昭和三四年
- 『最近の米国文献に現れた人工授精論議』（共同執筆）
昭和三四年
- 『財産分与・慰養料』
昭和三四年
- 『将来における離婚の合意』
昭和三五年
- 『夫婦別産制についての再検討（一）』
法学研究三三巻七号 昭和三五年

- 「チケット販売」 昭和三七年
- 「人工授精と父子関係」 昭和三九年
- 「懸賞広告の法律的性質―神戸先生の所説とその後の展開を中心として―」 昭和四〇年
- 「離婚の予約と事実上の離婚」 昭和四一年
- 「英国における夫婦財産に関する最近の立法・判例」 昭和四一年
- 「米国における夫婦財産関係の検討」 昭和四一年
- 「特別縁故者に対する残存相続財産の分与制度をめぐる若干問題」(共同執筆) 昭和四二年
- 「西ドイツにおける法定夫婦財産制の問題点」 昭和四三年
- 「Hire-purchase の若干問題―とくに三者間の契約を中心として―」 昭和四四年
- 「明治初期における夫婦財産制の成立小史」 昭和四四年
- 「最近の英国における人工授精論議―英国内務省委員会の報告書を中心に―」(共同執筆) 昭和四四年
- 『法学と社会法の理論』(峯村光郎教授還暦記念) 昭和四六年
- 「日常家事行為をめぐる一考察」 昭和四七年
- 「嫡出推定制度」 昭和四七年
- 「離婚における財産分与の性質」 昭和四七年
- 「非嫡出子の法律上の地位」 昭和四七年
- 「イギリス法における夫婦間の不法行為」 昭和四七年
- 「婚姻同意権」 昭和四八年
- 「人工授精と親子法」 昭和五〇年
- 「離婚の原因」 昭和五〇年
- 「法定夫婦財産制・アメリカ(1)―とくにニューヨーク州を中心として―」 昭和五〇年
- 「イギリス家族法の重層構造―特に離婚・別居をめぐり―」 昭和五三年
- 『契約法大系Ⅱ』 昭和三七年
- 自由と正義一五卷二号 昭和三九年
- 法学研究三八卷一号 昭和四〇年
- 『注釈民法(21)』 昭和四一年
- 法学研究三九卷五号 昭和四一年
- 法学研究四〇卷八号 昭和四二年
- 法学研究四〇卷九号 昭和四二年
- 法学研究四一卷一号 昭和四三年
- 法学研究四二卷三号 昭和四四年
- 三色旗二五八号 昭和四四年
- 『法律学演習講座4親族法・相続法』 昭和四七年
- 『法律学演習講座4親族法・相続法』 昭和四七年
- 『法律学演習講座4親族法・相続法』 昭和四七年
- 『法律学演習講座4親族法・相続法』 昭和四七年
- 法学研究四五卷一、二号 昭和四七年
- 『講座家族3「婚姻の成立」』 昭和四八年
- ケース研究一五〇号 昭和五〇年
- 自由と正義二六卷一〇号 昭和五〇年
- 比較法研究三七号 昭和五〇年
- 法学研究五一卷二号 昭和五三年

「イギリスの家族法の実情―婚姻・離婚を中心として―」
「借家権の相続」

「人工授精と体外受精」

「第三者の家庭破壊による慰謝料」

「配偶者の寄与と遺贈」

「体外受精の法的問題」

「試験管ベビーの法律問題」

「離婚法と現代女性」

「体外受精の法律問題」

「体外受精をめぐる法律問題」

「親と子の決定要因はなにか―配偶者以外の体外受精児の出現―」

「体外受精をめぐる法律問題」

「調停委員と家事調停」

「財産分与と慰謝料―破綻主義離婚法と関連して―」

「生命科学の進展と法律―代理の母の法律をめぐる―」

「子どもの権利と法律」

「家族の動態と家族法」

「イギリス人事訴訟手続法」

「内縁夫婦の一方が死亡した場合における他方の財産分与の請求」

「生殖援助技術と法律」

ケース研究一六五号 昭和五三年
ジュリスト増刊『民法の争点』 昭和五三年

『現代家族法大系第三卷（中川善之助先生追悼）』 昭和五四年

『家庭裁判所の三〇年「家族法の理論と実務」』 昭和五五年

ケース研究一八三号 昭和五六年

産婦人科の世界三五巻四号 昭和五八年

法学セミナー増刊『女性と法』 昭和五九年

法学セミナー増刊『女性と法』 昭和五九年

大学時報一七七号 昭和五九年

ジュリスト八二八号 昭和六〇年

時の法令六〇年一・三／一三合併号 昭和六〇年

受精・着床⁸⁴ 昭和六〇年

自由と正義三六巻七号 昭和六〇年

ケース研究二〇六号 昭和六一年

民事研修三五〇号 昭和六一年

児童青年精神医学とその近接領域二七巻三号 昭和六一年

戸籍五一七号 昭和六二年

『注解人事訴訟手続法（注解民事手続法5）』 昭和六二年

『家事審判事件の研究⁽¹⁾』 昭和六三年

民事研修四〇九号 平成三年

翻 訳

ホセ・C・ラウレタ「フィリッピン婚姻法・離婚法」

『新比較婚姻法Ⅵ東南アジア(2)』 昭和四四年

学会シンポジウム発表

「シンポジウム人工授精の諸問題」(共同報告・日本私法学会)

私法一六号 昭和三二年

「特別縁故者に対する残存相続財産の分与制度をめぐる諸問題」(共同報告・日本私法学会)

私法三〇号 昭和四三年

「法定夫婦財産制」(共同報告・比較法学会)

比較法研究三七号 昭和五〇年

注 解

『逐条民法特別法講座⑩親族・相続』(第七七二条～七九一条の部分)

昭和六三年

その他判例批評・解説・資料等多数ある。